まちの話題

森・川・海をつなぐ暮らし発見！
～物部川をめぐる暮らしの移り変わりを訪ねて～

八月二十六日から二十七日の二日間、物部川の保全を考えるイベントが開催されました。

このイベントは都市と山村の交流を目指す東京のNPO法人「MORIMORIネットワーク」（代表・山縣睦子）とアクア・リプル・ネットワーク（座長・岩神篤彦）、物部川流域三市（香美市・香南市・南国市）の主催で開催したものです。

▶物部川を巡り

初日のフォーラムは、物部川をめぐる暮らしの変遷が各世代ごとにリレートークで語られ、後半のパネルディスカッションでは、さまざまな立場のパネリストが、物部川の未来への展望を語りました。

また、フォーラム終了後には、フォトジャーナリスト高野弘さんによるフォトコンサートが開かれました。参加者は、アユなどの水中生物の旅や、水辺環境について、写真と歌声によるコンサートを楽しみました。

二日目は、物部川を巡るバスツアーが行われ、べふ峡から日ノ御子まで物部川沿いにかけての濁水状況や山地崩壊の現場などを見学した後、肌で感じた物部川の現状について、活発な意見交換が行われていました。

お話の世界に夢中！図書館まつり

読み聞かせ

本に触れ、図書館に親しんでもらおうと「図書館まつり」が八月十九日、市立図書館で開催され、子どもや保護者ら約七十人が参加しました。

まつりは、香南ジュニアオーケストラの心温まるバイオリン演奏ではじまり、山田おはなしの会による絵本の読み聞かせ、紙芝居などが行われ、子どもたちも夢中になって聞いていました。このほか、和紙を染めて自分だけのオリジナルうちわ作りも行われ、参加者は図書館で楽しいひとときを過ごしていました。

園児らが堂々と交通安全宣言

交通安全の意識向上を目指し全国をリレーする「交通安全全国キャンペーン全国キャラバン隊」が八月二十二日、香美市を訪れ、内閣府特命担当大臣の交通安全推進のメッセージ伝達式（香美市交通安全母の会主催）が行われました。

会場の健康センターセレネ広場に到着したキャラバン隊から、園児や高齢者など約百二十人にメッセージが伝えられると、参加者から交通安全宣言が発表されました。園児代表の鈴木琴乃ちゃんと小松和笑ちゃんは、「右見て左見て信号守って渡りましょう。命は大事な宝物。チャイルドシートで守りましょう」と息の合った声で堂々と発表しました。

伝達式終了後に開かれた交通安全教室には、子ども、親、高齢者の三世代が一緒になって参加し、ゲームやクイズで楽しく交通ルールを学んでいました。

交通安全をＰＲ

スポーツニュース

◆第１回香美市少年野球大会（８月13、20日・土佐山田スタジアムほか）

香美市内の少年野球チームなど十六チームが参加。決勝戦では、舟入ファイターズ（香美市）が、野市東部ライオンズ（香南市）に六対五で競り勝ち、初代優勝チームとなりました。

舟入ファイターズ

繁藤小・中学校がニュージーランドへ

　繁藤小・中学校では、八月十一日～二十一日の日程で、引率者三人を含む十六人がニュージーランドへ海外体験旅行に行ってきました。

　総合的な学習の時間を利用して、英会話練習や、現地の交流校『タウリコスクール』の生徒とのメール交換などで事前学習を行って、出発しました。現地では、史跡などをめぐってニュージーランドの歴史や文化を学んだほか、メール交換相手との交流を行いました。

　また、繁藤の生徒たちはふだんから「あいさつ」を心がけていますが、外国という異文化の国でも、「よくあいさつができる」とバスの運転手さんやホームステイ先のファミリーから、お褒めの言葉をいただきました。

　地域の援助により実現できた今回の旅行を通じて、子どもたちは貴重な経験を積むことができました。

（繁藤小・中学校）

たくさんの思い出と貴重な体験を積んだ子どもたち

ちょうちん一つで龍河洞を探検

　八月二十六日に「龍河洞まつり」が開催されました。

　まつりのイベントの一つ「くらやみ体験ツアー」は、照明を消した洞内をちょうちん一つで探検するもので、入洞前に作った〝絵馬ちょうちん〟を手にした小学生らを先頭に参加者が次々と真っ暗な洞内に入っていきました。途中でちょうちんの灯りが消えるハプニングもあり、「暗くてこわかったけど、面白かった」「何度も入っているが、真っ暗な洞くつはめずらしい」などの感想も聞かれ、あらためて龍河洞の奥深さを実感しているようでした。

まっくらな洞内

暴力団排除へ市と警察が連携

　公共工事の入札から暴力団を排除するため、香美市と香美警察署が相互の連絡協議体制の確立をはかる合意書への調印が九月五日に行われました。

　今後は、市の照会に対して、警察署から情報提供が行われ、暴力団関係者が指名業者の役員となっていることが判明した場合は最長で二年間の指名停止となるなど、暴力団排除の徹底に向け、緊密な連携がとられることになりました。

門脇市長（左）と西岡署長（右）

朝食の大切さを実感！親子料理教室

　「親子料理教室」（市教委主催）が八月十九日、市立中央公民館で開催され、十五組・三十四人の親子が参加しました。

　教室は、朝食を食べずに登校する子どもたちが増える中、調理を通じて、朝食の大切さを実感してもらおうと開催されたもので、親子が協力して栄養豊富な朝食作りに取り組みました。

　講師のＲＫＣ調理師学校長・三谷英子さんから、お箸の持ち方や、朝食の大切さについてのお話もありました。

親子が協力して調理